

# 新型コロナウイルス感染症対策 第3波における対策の強化

NPO法人ふれんど45

## ■感染経路別の予防策

- ◇飛沫感染対策(マスク、飛沫防止アクリル板、フェイスシールドなど)但し、フェイスシールド(アイシールド)は目の保護が目的なので、マスクのような飛沫感染防止の効果はないため、マスクは必ず着用すること。
- ◇人の手を介した接触感染対策 (石鹸もしくはアルコールによる手洗い)
- ◇物や環境を介した接触感染対策(どんな場所も触れる前後で手洗いをする。(1日1回、こまめに消毒する→出勤時と退勤時に励行)  
〈照明スイッチ・ドアノブ・リモコン・ゴミ捨て・共用パソコン・飛沫防止用アクリル板〉など

**重要!**

- いつでも手洗い出来るようなアルコール消毒薬の設置
- すぐに拭き掃除ができるような消毒クロスの配備

**対策**

**消毒しやすい環境づくりの推進**(高頻度接触部位の近くに手指消毒用アルコールを設置)

- ペダル式スタンドの購入と設置(各ホーム玄関1台、舞岡+1台リビング入口)
- ホーム毎に消毒薬の設置台を設ける(トイレ、洗面台他、必要な場所に設置)
- 消毒クロスの配備→古いタオルなどを切って活用する(準備済み)



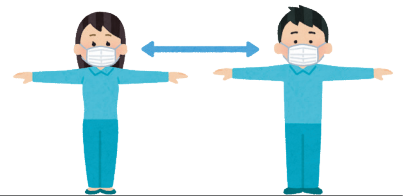
## ■3密を避ける環境整備

### 密閉 を避ける対策

2方向の対角線上の窓の開放を1時間に2回程度、5分間ずつ実施する。複数人の滞在がやむをえない場合、大きな声を出さない。

### 密集 を避ける対策

一か所の利用人数・利用時間の制限(食事は2名単位とする)



### 密接 を避ける対策

常に両腕を伸ばして触れない距離を保つ。体面にならない。近くにいる時間を出来るだけ短くする(15分以内を目安)

## ■関係者の健康管理

### 職員、入居者の健康状態の把握

#### 職員

検温+体調で確認する。ホームに入る前に健康状態を必ず確認し、業務日誌に記入して下さい。

#### 入居者

朝の体温測定と健康状態の確認を行い、支援日誌に記載して下さい。

### 情報集約体制の整備

入居者・職員からの情報、組織内の情報の把握→各ホーム責任者→サビ管・管理者への報告

### 欠員に備えた体制の整備

体調が悪い人がスムーズに休めるような体制づくりの推進。  
(配置転換、応援人材の確保、サービス内容の変更などの検討。)

